11／5　東通小学校５年生　～東通村の水産業について～

キツネメバルの標識付けの説明を受ける様子　「むずかしぃ～！」

キツネメバル放流の様子　　“ふのり”と“こんぶ”の詰め放題体験

東通小学校５年生が、東通科の授業の一環で、尻屋漁港を訪れ、尻屋漁業協同組合･むつ水産事務所の協力のもと水産教室が開かれました。

今回児童達が体験したのは“標識（付け）放流”というもので、魚に目印（標識）を付けて海に放流することで、漁師さん達が網などで獲った時に、獲れた場所や大きさから、魚が放流されてからどこまで行ってどれくらい成長したかが分かり、漁師さん達が魚を獲るうえで大事な手がかりになるものです。

また、“ふのり”や“こんぶ”の詰め放題を体験し、それぞれが個性溢れる詰め方をしていました。

11／5　東通小学校４年生　～寒立菜・東通そばを知ろう！～

東通小学校４年生が、東通科の一環で、“寒立菜”と“東通そば”について知るため、東通村畑作生産振興会長の山﨑孝悦さんを学校に招き、お話を聞きました。

寒立菜は冬の寒い外気に晒すことによって、通常のホウレンソウより旨味や甘みが増えるということや、村内では１０名ほどの農家さん達が栽培･出荷しているということを学びました。

東通そばについては、歴史や“茹で置き”になった由来、村内各地区においての切り方や太さの違いについて教えてもらいました。

また、そばの花は“非常に臭い”という豆知識も学びました。

児童達からは「寒立菜はどの地区で主につくられているの？」、「なぜ東通村では、そばが盛んになったの？」などの質問が飛び出し、それに対し山﨑さんは丁寧に答えていました。

寒立菜の話をする山﨑さん

真剣にメモを取る児童

東通そばについて道具を使って説明